

I ま え が き

令和7年度予算のうち、市税収入につきましては、定額減税分の税額控除の減少により個人市民税が増加するとともに、家屋の新增築などにより固定資産税が増加し、前年度と比べて194億円、5.0%増加するものと見込んでおります。

一方で、ふるさと納税による減収は拡大し、物価高騰や国の制度変更などに伴う財政措置が十分ではないなど、本市財政は引き続き厳しい環境にあります。

こうした中においても、市制100周年の取組を一過性のものとせず、「あたらしい川崎」の実現に向けた施策を着実に推進するとともに、防災・減災、暑熱、防犯などの安全対策や、安心して子どもを産み育てられる環境づくりなど、生命を守り、誰もが安全・安心に暮らすことができる取組に対して重点的に予算を配分いたしました。

令和7年度予算につきましても、「安心のふるさとづくり」と「力強い産業都市づくり」による、持続可能な「最幸のまち かわさき」の実現をめざして、「総合計画 第3期実施計画」に掲げる取組を推進するとともに、この間に顕在化した課題にも配慮した予算になったものと考えております。

厳しい財政環境が続くことが見込まれる中においても、必要な政策・施策を着実に推進していくため、「行財政改革第3期プログラム」に基づく取組を計画的に進めることで、持続可能な行財政基盤を構築し、中長期的な視点に立った行財政運営にしっかりと取り組んでまいります。

令和7年度予算及び令和6年度予算執行のあらましなどは、以下のとおりです。